

令和3年度 東日本地域高等専門学校技術職員 特別研修会(情報系) 参加報告

技術第2班 遠藤 健太郎

1. 目的

本研修会は機構の実施要領に基づき、高等専門学校の技術職員(学科、教室、教育研究センター、実習工場及び練習船等における教育・研究の技術支援等に従事する職員)に対して、その職務の遂行に必要な高度で専門的な知識を修得させ、技術職員の資質の向上を図ることを目的としている。なお、本研修会の受講者は17名(参加校17校で鶴岡高専が主幹校)であった。

2. 期間

令和3年8月18日(水)～8月20日(金)

3. 会場

オンラインによる実施

4. 日程

<1日目>

- 9:00-9:15 開講式
- 9:15-10:35 講義Ⅰ
「データを活用した学習支援に関する方法」
講師:羽山 徹彩 准教授
- 10:50-12:10 講義Ⅱ
「社会はAIで変わるのか? ~産業応用AIの今~」
講師:野中 尋史 准教授
- 13:10-14:30 講義Ⅲ
「未来を築く人を育てる」
講師:袖 美樹子 准教授
- 14:45-16:05 講義Ⅳ
「Society5.0を日本史の観点から語る」
講師:山田 充昭 教授
- 16:25-16:40 記念写真撮影
- 17:15-18:30 オンライン懇親会

<2日目>

- 9:00-12:00 「研究開発技術等の
発表及び討議」
※発表15分、質疑5分
- 13:15-17:15 「研究開発技術等の
発表及び討議」
(午前中の続き)
「全体討議及び総評」

<3日目>

- 9:00-10:30 バーチャル施設見学会
- ① リモートでの分析機器の制御・操作等の説明
(長岡技科大 分析センター 齋藤 信雄 氏)
- ② 分析センターのバーチャル見学・操作体験
(長岡技科大 技術支援センター)
- 10:50-11:50 講演会
「第3の職としてURAに期待される役割と本学での活動事例」
研究戦略本部 URA 荒木 直人 氏
- 12:00-12:15 総評・閉講式

5. 研修会に参加して

1日目の各講義においては、Zoomによる聴講であったが、情報データ活用やAI、Society5.0に関する歴史等、時流に沿った内容を学ぶ事ができ非常に有意義であった。講義Ⅲのように学生指導に直結する内容も多々有り、教育支援の質の向上に努めたい。

2日目の発表及び討議においては、当方は奨励研究の取組みについて発表した。また、様々な他高専職員の取組みを拝聴でき、今後の自身の取組みに活かしたい。

3日目の見学会においては、最先端の分析機器のリモート操作を体験でき、現状の分析技術の知見を広げられたと共に、長岡技大進学希望の学生に対して、研究・設備紹介等でも活かせればと考えている。